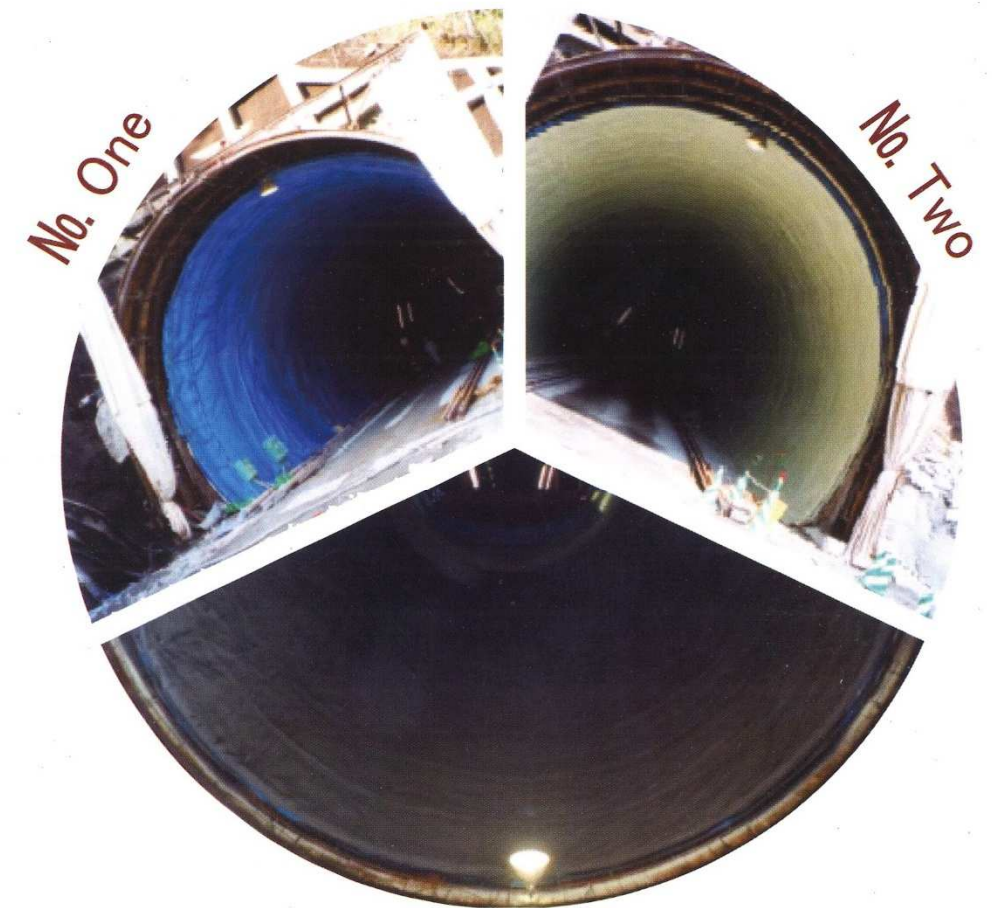


試験名称	建築基準法第2条第九号に係る不燃材料の防火性能試験			
試験方法	(財) 建材試験センターが定めた「防耐火性能試験・評価業務方法書」の不燃性試験・評価方法に基づく発熱性試験。 加熱時間20分、設定輻射熱量50kW/m ² 、排気ガス流量速度2.4m/s			
試験結果	試験体記号	A	B	C
	試験体の大きさ (mm)	100×100	100×100	100×100
	試験体の厚さ (mm)	5.2	5.3	5.2
	試験体の質量 (g)	107.8	107.3	107.9
	総発熱量曲線	別図-1	別図-2	別図-3
	20分間の総発熱量 (MJ/m ²)	1.7	1.9	1.4
	発熱速度曲線	別図-4	別図-5	別図-6
	最高発熱速度 (kW/m ²)	3.8	6.4	6.5
	200kW/m ² 超過継続時間 (s)	なし	なし	なし
	防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴の有無	なし	なし	なし
	着炎時間 (s)	なし	なし	なし
	消炎時間 (s)	-	-	-
	試験年月日	平成17年 8月30日	平成17年 8月30日	平成17年 8月31日
	判定	合格	合格	合格
[備考]	-			
試験期間	平成17年 8月30日 ~ 31日			
担当者	防耐火グループ	試験監督者 川端 義雄 試験責任者 西本 俊郎 試験実施者 高見 治子、中村 杏子 平沼 宏之		
試験場所	中央試験所			

硬質ウレタンフォーム不燃コート材

フィッツコート

防水・断熱・防火



No. Three

OKAMOTO

フィッツコート物性表

北海道立北方建築総合研究所

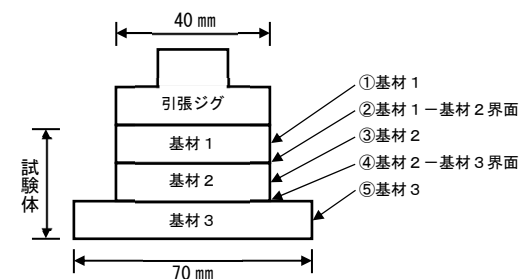
■最大荷重及び引張接着強さ、破断位置

試験体	最大荷重 (N)	引張接着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	402.7	0.25	②
2	464.4	0.29	②
3	177.2	0.11	④
4	402.7	0.25	②
5	495.3	0.31	②

■試験体基材の組み合わせ

試験体名	試験体
基材1	フィッツコート
基材2	発泡ウレタン
基材3	スレート

■試験体概要 (接着面積40mm×40mm)



責任施工

製造

建設業の許可票 北海道知事許可(般-)第1536号
岡本産業株式会社

所在地/石狩市樽川8条1丁目198番地
 総合事業所/TEL (0133) 76-2575
 ホームページ <http://www.okamotosangyo.co.jp>
 Eメール info@okamotosangyo.co.jp

フィップコート施工

概要

吹付硬質ウレタンフォームは、様々な形状・材質にシームレスな断熱層を容易に形成できることから、土木・建築のあらゆる構造物の断熱工法として用いられてきました。しかし、その一方で溶接火花等の引火による火災事故も発生し、火気災害への対策が求められるようになりました。

フィップコートは、こうした社会のニーズに応えるために、吹付硬質ウレタンフォームの不燃コート材として開発しました。

特徴

フィップコートはセメントを主成分とした無機質なセラミック系の材料です。その為、有害ガス等の発生もなく、安心してご使用いただける防火・不燃コート材です。

施工厚みが薄いので施工性も良く、リシガンや一般的なモルタル吹付機等で容易に施工することが可能です。

また、薄くて軽いことで、硬化も早く次工程への影響も少なく、剥離・剥落事故のリスクも非常に少ない不燃コート材です。

更には、仕上材として施工された場合は、呼吸性があるので、一定の水分は吸収することができ、表面結露を抑える効果もあります。

※ 不燃材 国土交通省認定番号 NM-1205 取得
(有機系断熱材との複合不燃認定は取得していません。)

注意事項

- フィップコートの施工には下地への清掃を十分にしてください。
- フィップコートの施工は施工要領・手順を厳守し、他の材料を絶対に混入しないでください。
- フィップコートは攪拌後、1時間以内に使用してください。
- フィップコート施工時に外気温度が5℃以下の場合は作業を行わないでください。やむを得ず作業をする場合は採暖養生してください。
- フィップコート吹付作業時には、保護マスク・手袋を装着してください。
- ピット内などガス発生・酸欠等の恐れのある箇所では、事前に測定器で安全を確認の上、施工してください。
- 施工後、振動等の負荷や雨水等がかかる場合には、剥離等が発生する可能性が高くなりますので、ご注意下さい。

※使用器具 スネーク式・スクイズ式・塗装吹付ガン・左官コテ

※1袋当りの重量 . . . 20kg
※1袋当りの使用量(目安) . . . 2mm厚の場合: 約12.5㎡ 3mm厚の場合: 約8.3㎡
※比重 = 0.8 (計算式: 比重 = 重量W[g] / 体積[cm³])

用途

トンネル、サイロ、上下水処理場、ゴミ処理場、冷凍・冷蔵倉庫

事務所ビル、集合住宅、学校、病院、老人保健施設、公共施設、駐車場

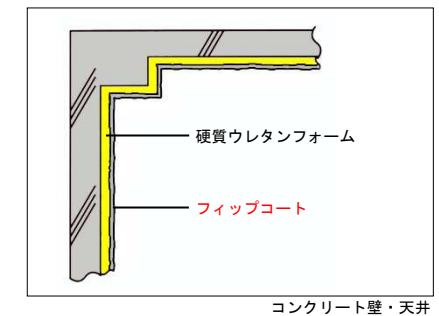
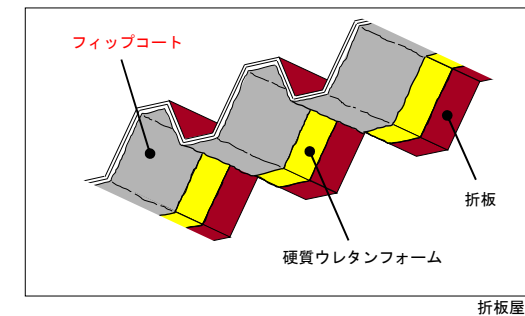
エレベーター室、階段室

硬質ウレタンフォーム及びポリスチレンフォーム面の防火コート

施工面

コンクリート、鉄骨、折板、金属パネル、合板

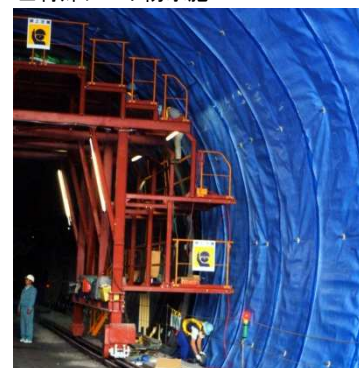
有機系断熱材各下地及びウレタン吹付面に使用



施工の詳細

トンネル施工

■特殊シート防水施工



■発泡ウレタン吹付施工



■フィップ防火コート吹付施工

